

# FANG+2倍ブル

# FANG+2倍ベア

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

※お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## Q & A

Q1	「FANG+」とは	…1ページ
Q2	ポートフォリオはどのような構成ですか？	…1ページ
Q3	なぜFANG+が注目されているのですか？	…2ページ
Q4	どのように運用を行ないますか？	…3ページ
Q5	レバレッジとは	…4ページ
Q6	ファンド保有期間中の投資成果は、対象指数の値動きの「2倍程度」になるのですか？	…5ページ
Q7	対象指数が上昇・下落を繰返した場合、基準価額はどうなりますか？	…6ページ
Q8	日々の基準価額の値動きが、対象指数の値動きの「ちょうど2倍」または「ちょうど2倍逆」にならないのはなぜですか？	…7ページ
Q9	FANG+指数はどこで確認できますか？	…8ページ
Q10	購入・換金はいつの基準価額が適用されますか？	…8ページ
Q11	マンスリー・ファンド・レポート等の情報開示の頻度を教えてください。	…8ページ
Q12	基準価額はどこで確認できますか？	…8ページ
	ファンドの費用・投資リスク	…9ページ
	お申込みメモ	…11ページ
	当資料のお取扱いにおけるご注意	…12ページ

目論見書のご請求・お申込みは…

**立花証券**

〈販売会社〉

商号等 立花証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第110号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は…

**大和アセットマネジメント**

Daiwa Asset Management

**60<sup>th</sup>**  
Anniversary

〈委託会社〉

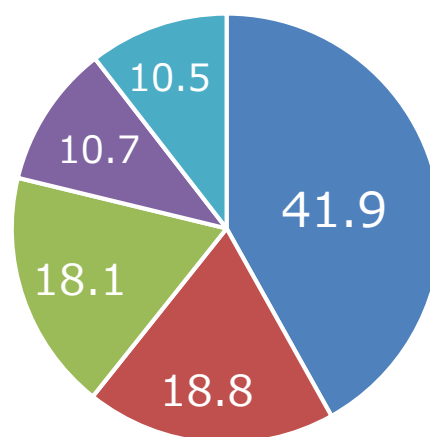
商号等 大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## Q1 「FANG+」とは

「NYSE FANG+指数」は、次世代テクノロジーをベースに、グローバルな現代社会において人々の生活に大きな影響力を持ち、高い知名度を有する米国上場企業を対象に構成された、ニューヨーク証券取引所（NYSE）に上場している株価指数です。構成銘柄数は少ないものの、当指数に投資をすることで、高成長が期待できる企業へ集約して投資を行なうことが可能です。

構成銘柄（2020年8月末現在）

産業分類別構成比率（%）（2020年8月末現在）



- メディア・娯楽
- 小売
- 自動車・自動車部品
- テクノロジー・ハードウェアおよび機器
- 半導体・半導体製造装置

※2020年8月末時点。時価総額ベース。※GICSによる産業分類  
※四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。

## Q2 ポートフォリオはどのような構成ですか？

FANG+指数は、次のような採用銘柄の変更と、組み入れ比率のリバランスを行っています。

### 採用銘柄の変更

- ・ タイミング : 3・6・9・12月の第3金曜日
- ・ 銘柄決定者 : ニューヨーク証券取引所を傘下とするICE（アイス）グループのガバナンス委員会
- ・ 銘柄数 : 最低10 銘柄を基本とする。  
(上場廃止や合併等で外れる場合、新規銘柄が補充されます。)

### 組入比率のリバランス

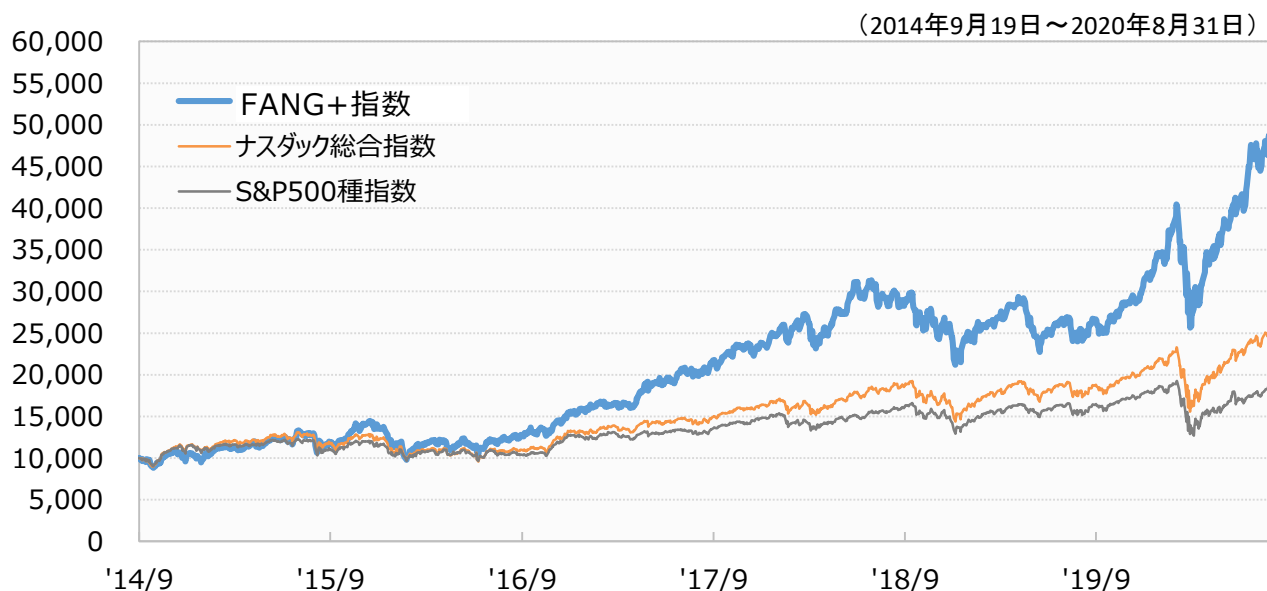
- ・ タイミング : 3・6・9・12月の第3金曜日
- ・ 方法 : 3カ月毎に等金額に調整
- ・ 銘柄数 : 最低10 銘柄を基本とする。  
(値上がりしていた銘柄は売却、値下がりしていた銘柄は買付けを行なう。)

(出所) ブルームバーグ、各種資料

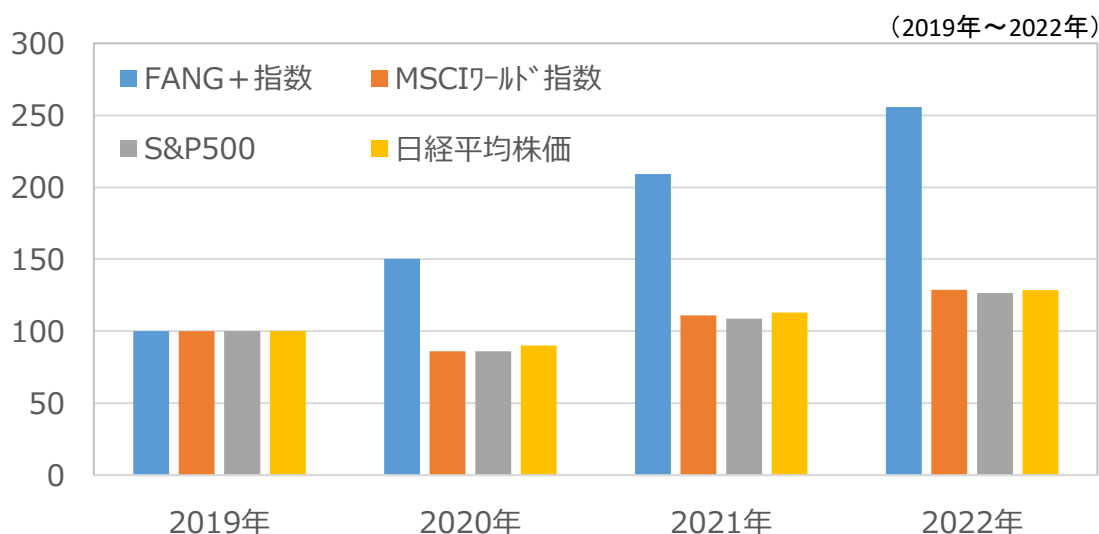
### Q3 なぜFANG+が注目されているのですか？

FANG+指数は、他指数と比較し高い成長性が魅力の指数です。高い成長性を持つ比較的少数の企業で構成されている指数のため、各企業の成長を享受しやすい一方、各企業のニュースや業績で、指数全体のパフォーマンスが左右されやすいという特徴があります。

#### 他指数とのパフォーマンス比較



#### 各株価指数の1株当たり利益（EPS）比較

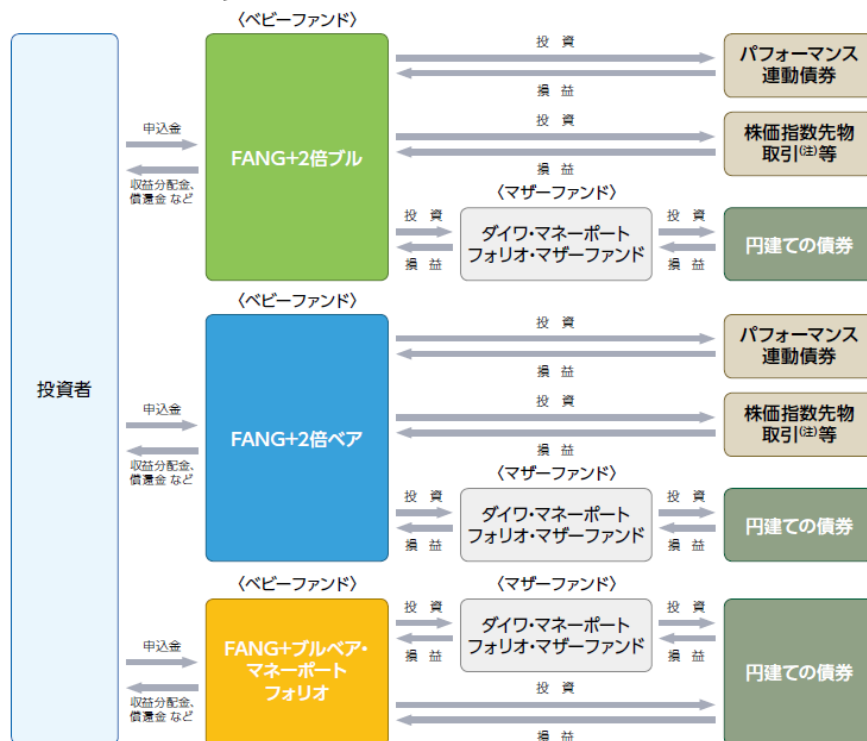


※2019年を100として指数化。2020年以降は2020年9月時点予想値。

(出所) ブルームバーグ

## Q4 どのように運用を行ないますか？

当ファンドは、ファミリーファンド方式での運用の他、パフォーマンス連動債券および先物取引等を通じた運用により投資成果を享受します。



(注) [FANG+2倍ブル]は株価指数先物取引の買建て、  
[FANG+2倍ベア]は株価指数先物取引の売建てを行ないます。

通常のブル・ベアファンドの場合、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉（ベアは売建玉）の時価総額の合計額が、原則として信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きが指数の値動きの2倍程度（2倍程度逆）となることをめざします。

FANG+指数の先物取引の流動性が低いため、当ファンドではSPC（特別目的会社）が発行するパフォーマンス連動債券を活用しています。

### [パフォーマンス連動債券の概要]

#### [ FANG+2倍ブル]

発行体／表示通貨	スター・ヘリオス・ピーエルシー／円建て
特色	1. 原則として、日々の債券価格の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度に連動します。 2. UBS銀行を相手方とした担保付スワップ取引を通じて、NYSE FANG+指数の概ね2倍に連動する投資成果を享受します。

#### [ FANG+2倍ベア]

発行体／表示通貨	スター・ヘリオス・ピーエルシー／円建て
特色	1. 原則として、日々の債券価格の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度逆に連動します。 2. UBS銀行を相手方とした担保付スワップ取引を通じて、NYSE FANG+指数の概ね2倍逆に連動する投資成果を享受します。

※スター・ヘリオス・ピーエルシーは、分別保管される資産を裏付けとして債券を発行することを主な業務とする、アイルランド籍の特別目的会社です。裏付資産は保管会社によって分別管理されています。

## Q5 レバレッジとは

レバレッジとはテコを意味する言葉で、テコが小さな力で大きなものを動かすことに例え、少額の資金でより大きな金額と同等の投資成果の獲得を目指す投資手法を言います。

イメージ図【レバレッジ=テコ】

レバレッジを高く設定することで、少ない資金を効率的に使い大きな投資成果を狙えることがメリットですが、その分値動きは大きくなります。

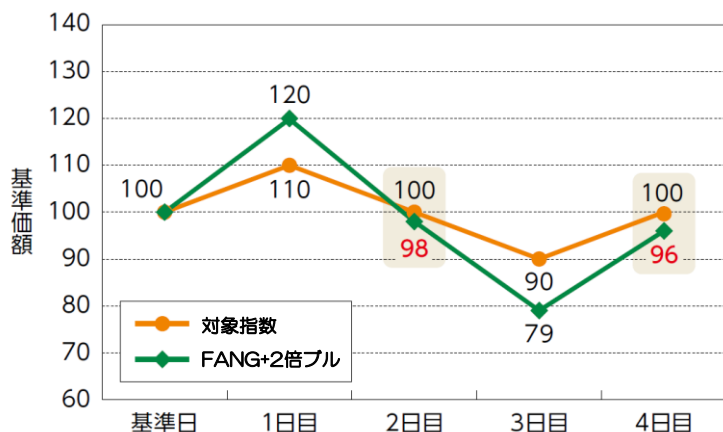


### レバレッジのデメリットとメリット

（日々の基準価額の値動きが対象指数の値動きの2倍程度となることを目指す場合）

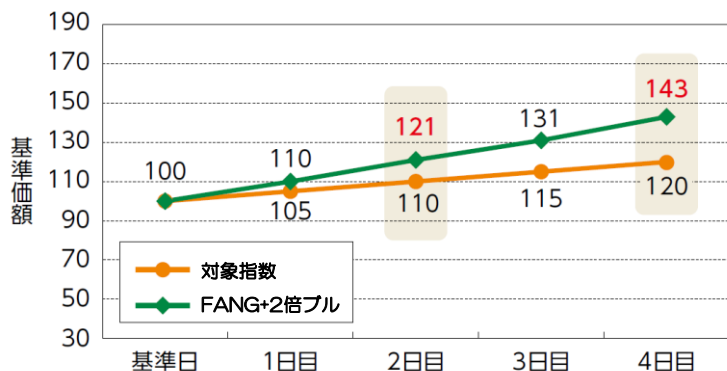
※FANG+2倍ブルの例

#### デメリット 横ばいに弱い



【解説】  
「2日目」「4日目」において「対象指数」は「基準日」と同じ「100」ですが、「FANG+2倍ブル」はそれぞれの時点において「100」以下となっています。このように、「対象指数」が上昇・下落を繰り返した場合には、「FANG+2倍ブル」の基準価額は時間の経過とともに押下げられることとなります。

#### メリット 上昇には強い



【解説】  
対象指数が一方的に上昇し、4日目に「120」と+20%の上昇となった場合、レバレッジ2倍の当ファンドは+20%×2倍で+40%…とはなりません。複利のチカラが働いて+43%、「143」となります。

## Q6 ファンド保有期間中の投資成果は、対象指数の値動きの「2倍程度」になるのですか？

ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、通常「2倍程度」になるわけではありません。以下の「FANG+2倍ブル」を例に【例1】および【例2】をご参照下さい。

### Ⅰ FANG+2倍ブルの場合

【例1】翌日に対象指数が10%下落し、翌々日に対象指数が10%上昇した場合

	基準日	翌日(前日比)		翌々日(前日比)		翌々日と基準日の比較
対象指数	100	90	-10%	99	+10%	-1%
「FANG+2倍ブル」の基準価額	100	80	-20%	96	+20%	-4%

◇「翌々日」と「基準日」とを比較し、  
「FANG+2倍ブル」の基準価額は  $(96-100) \div 100 = -4\%$  であり、  
対象指数の値動き  $(99-100) \div 100 = -1\%$  の2倍とはなっていません。

【例2】翌日に対象指数が10%上昇し、翌々日に対象指数がさらに10%上昇した場合

	基準日	翌日(前日比)		翌々日(前日比)		翌々日と基準日の比較
対象指数	100	110	+10%	121	+10%	+21%
「FANG+2倍ブル」の基準価額	100	120	+20%	144	+20%	+44%

◇「翌々日」と「基準日」とを比較し、  
「FANG+2倍ブル」の基準価額は  $(144-100) \div 100 = 44\%$  であり、  
対象指数の値動き  $(121-100) \div 100 = 21\%$  の2倍とはなっていません。

## Q7 対象指数が上昇・下落を繰り返した場合、基準価額はどうなりますか？

一般に、NYSE FANG+指数が上昇・下落をしながら動いた場合には、基準価額は押下げられることとなります。「FANG+2倍ブル」を例に以下の【例1】および【例2】をご参照下さい。

### ■ FANG+2倍ブル

#### 【例1】

対象指数が±10の範囲で上昇・下落を繰り返した場合



左図の「2日目」、「4日目」において「対象指数(a)」は「基準日」と同じ「100」ですが、「ブル2(a)」はそれぞれの時点において「100」以下となっています。このように、「対象指数(a)」が上昇・下落を繰り返した場合には、「ブル2(a)」の基準価額は時間の経過とともに押下げられることとなります。

※上記グラフ中においては、ファンドの名称等を次のとおり略して表記しています。

「FANG+2倍ブル」：ブル2

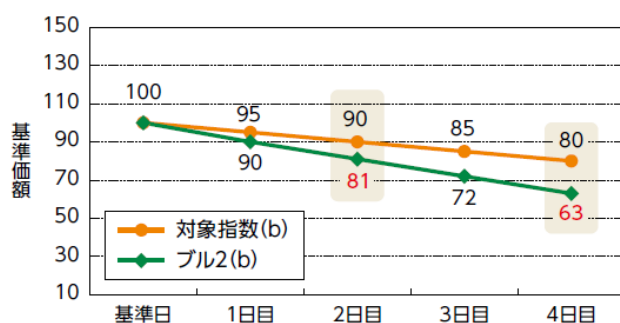
※上記グラフにおいて示される各数値は、小数点以下を四捨五入して算出した値です。

※ 上記は、基準価額の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し簡略化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

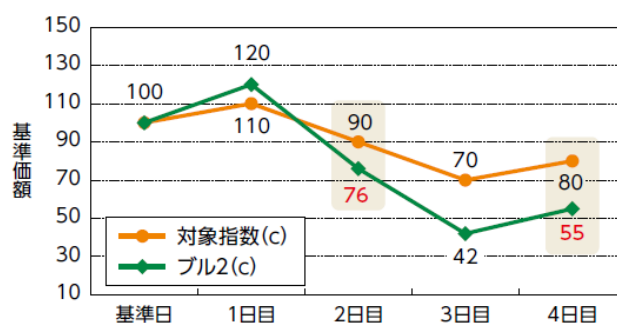
#### 【例2】

対象指数が「(1) 一方的に上昇または下落した場合」、  
「(2) 上昇・下落を繰り返しながら、次第に上昇または下落した場合」

#### (1-1) 一方的に下落した場合



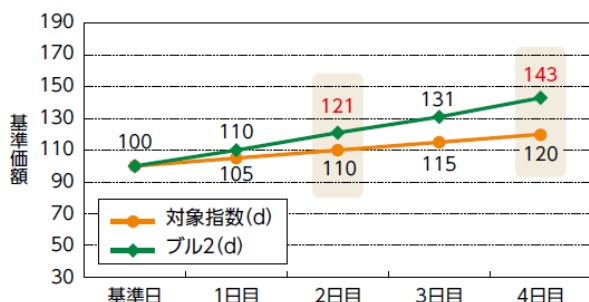
#### (2-1) 上昇・下落しながら次第に下落していった場合



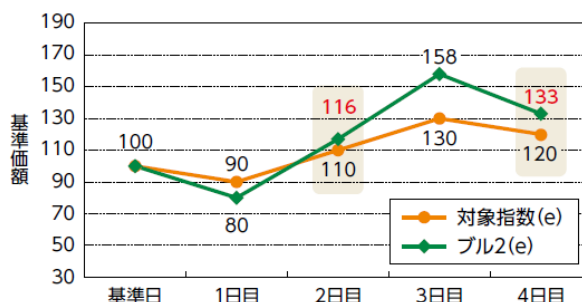
ブル2		基準日	2日目	4日目
対象指数		100	90	80
(1) 一方的に下落した場合	ブル2(b)	100	81	63
(2) 上昇・下落しながら次第に下落していった場合	ブル2(c)	100	76	55

(1-1)、(2-1)の「2日目」、「4日目」において、「対象指数(b)」および「対象指数(c)」はそれぞれ「90」、「80」で同じですが、「対象指数(b)」に対応する「ブル2(b)」と「対象指数(c)」に対応する「ブル2(c)」では、「ブル2(b)」の方が高い水準となっています。このように、対象指数が一方的に下落する場合と上昇・下落を繰り返しながら次第に下落する場合とでは、最終的に対象指数が同じ水準になったとしても、上昇・下落をしながら次第に下落した場合の基準価額が押下げられることとなります。

(1-2) 一方的に上昇した場合



(2-2) 上昇・下落しながら次第に上昇していった場合



ブル2		基準日	2日目	4日目
対象指数		100	110	120
(1) 一方的に上昇した場合	ブル2(d)	100	121	143
(2) 上昇・下落しながら次第に上昇していった場合	ブル2(e)	100	116	133

(1-1)、(2-1)と同様に、対象指数が一方的に上昇する場合と上昇・下落を繰返しながら次第に上昇する場合とは、最終的に対象指数が同じ水準になったとしても、上昇・下落をしながら次第に上昇した場合の基準価額が押下げられることとなります。

※上記グラフ中においては、ファンドの名称等を次のとおり略して表記しています。

「FANG+2倍ブル」：ブル2

※上記グラフにおいて示される各数値は、小数点以下を四捨五入して算出した値です。

※ 上記は、基準価額の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し簡略化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

## Q8 日々の基準価額の値動きが、対象指数の値動きの「ちょうど2倍」または「ちょうど2倍逆」にならないのはなぜですか？

下記要因等により、「ちょうど2倍」または「ちょうど2倍逆」になるとは限りません。

- 対象指数の値動きと、パフォーマンス連動債券が内包する担保付スワップ取引に起因するパフォーマンス連動債券の値動きとの差
- 対象指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- 株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- 株価指数先物の流動性が低下した場合における売買対応の影響
- 株価指数先物の最低取引単位の影響
- 配当利回りと短期金利の差

※将来の米国の金利水準によっては、さらに乖離が拡大する場合があります。

- 為替変動により、株価指数先物取引の買建ての額を円に換算した額が、目標としている額から乖離することにより、目標とする投資成果が達成できない場合があること



## Q9 FANG+指数はどこで確認できますか？

ニューヨーク証券取引所（NYSE）のホームページからご確認いただけます。  
（下記URLをご参照ください。）

▶ <https://www.nyse.com/quote/index/NYFANG>

## Q10 購入・換金はいつの基準価額が適用されますか？

- ・ 購入価額・換金価額は、申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
- ・ 申込受付日の翌営業日の基準価額は、申込受付日と同じ日付の投資対象市場における市場価格など取得可能な直近の価格を反映しています。
- ・ 申込締切時間の午後3時までに販売会社所定の事務手続きが完了しなかった場合、当日の申込受付とはなりません。
- ・ 申込締切時間の午後3時までに事務手続きが完了せず翌営業日の申込受付となった場合、購入価額・換金価額は申込みをしようとした日の翌々営業日（申込受付日の翌営業日）の基準価額となります。

※販売会社によって申込可能時間が異なる場合があります。

【お申込みと基準価額のイメージ図】

	木	金	土	日	月	火
日本時間 お客様 申込み	午後3時 申込締切 お申込み	午後3時 申込締切 お申込み			午後3時 申込締切 お申込み	
米国時間	水	木	金	土	日	月
		米国終値で 時価評価	米国終値で 時価評価			米国終値で 時価評価
基準価額		購入価額 換金価額 (基準価額)			購入価額 換金価額 (基準価額)	購入価額 換金価額 (基準価額)

## Q11 マンスリー・ファンド・レポート等の情報開示の頻度を教えてください。

レポートは月末時点を基準として作成し、開示は翌月中になります。

## Q12 基準価額はどこで確認できますか？

基準価額は、大和アセットマネジメントのホームページ、日本経済新聞等で確認することができます。日本経済新聞の大和アセットマネジメントの欄、「iFreeレバレッジ FANG+」（掲載名：「iFレバFG」）の下に掲載されています。

「FANG+2倍ブル」 : FG+2ブル（掲載名）  
「FANG+2倍ベア」 : FG+2ベア（掲載名）

※くわしくは各ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドの費用（消費税率10%の場合）

### ■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が別に定める率（上限）2.2%（税込）
信託財産留保額	ありません。

### ■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.166%（税込）
投資対象とする パフォーマンス 連動債券	年率0.29%程度
実質的に負担する 運用管理費用の 概算値	年率1.456%（税込）以下 （パフォーマンス連動債券にかかる費用等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。）
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※当ファンドおよびパフォーマンス連動債券における「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

## 投資リスク

各ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

- 価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動）
- 株価指数先物取引の利用に伴うリスク ● パフォーマンス連動債券への投資に伴うリスク
- 連動対象の指数に関するリスク ● 為替変動リスク
- カントリー・リスク ● その他（解約申込みに伴うリスク等）など

※ ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、「2倍程度」または「2倍程度逆」となるわけではありません。

※ 対象指数が上昇・下落をしながら動いた場合には、保有期間が長くなる程、基準価額がより大きく押下げられる傾向があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ レバレッジ運用を行なう先物取引やパフォーマンス連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。そのため、長期に保有する場合、金利負担が累積されます。

※ くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## 追加的記載事項

日々の基準価額の値動きは、対象指数の値動きの「ちょうど2倍」または「ちょうど2倍逆」になるとはかぎりません。その主な要因は次のとおりです。

- 対象指数の値動きと、パフォーマンス連動債券が内包する担保付スワップ取引に起因するパフォーマンス連動債券の値動きとの差
- 対象指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- 株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- 株価指数先物の流動性が低下した場合における売買対応の影響
- 株価指数先物の最低取引単位の影響
- 配当利回りと短期金利の差  
※将来の米国の金利水準によっては、さらに乖離が拡大する場合があります。
- 為替変動により、株価指数先物取引の買建ての額を円に換算した額が、目標としている額から乖離することにより、目標とする投資成果が達成できない場合があること

※くわしくは各ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## お申込みメモ

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位		
購入・換金価額	購入および換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）		
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。		
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所またはナスダック（米国）の休業日 ② 「委託会社の休業日でありかつニューヨーク証券取引所またはナスダック（米国）の休業日でない日」の前営業日 ③ ①②のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。		
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）		
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。		
購入・換金申込受付の中止および取消し	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次に該当する場合には、委託会社の判断で、当日分の購入、換金およびスイッチング（乗換え）の受け付けを中止または取消しにすることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・株価指数先物取引のうち主として取引を行なうものについて、当該先物取引にかかる金融商品取引所等における当日の立会が行なわれないときもしくは停止されたとき。</li> <li>・株価指数先物取引のうち主として取引を行なうものについて、当該先物取引にかかる金融商品取引所等における当日の立会終了時の当該先物取引の呼値が当該金融商品取引所等が定める呼値の値幅の限度の値段とされる等やむを得ない事情が発生したことから、当該各ファンドの当該先物取引にかかる呼値の取引数量の全部もしくは一部についてその取引が成立しないとき。</li> </ul> </li> <li>● 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。</li> </ul>		
スイッチング（乗換え）	各ファンドの間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。 ※販売会社によっては2つのファンドのうち、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング（乗換え）のお取扱いを行なわない場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。		
信託期間	2023年8月18日まで（2020年8月19日当初設定） 受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。		
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合</li> <li>・NYSE FANG+指数が改廃された場合</li> <li>・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき</li> <li>・やむを得ない事情が発生したとき</li> </ul>		
決算日	毎年8月18日（休業日の場合、翌営業日） （注）第1計算期間は、2021年8月18日（休業日の場合、翌営業日）までとします。		
収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）各ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。		
信託金の限度額	各ファンドについて500億円		
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。		
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	委託会社	大和アセットマネジメント株式会社 お電話によるお問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-106212 （営業日の9:00~17:00） ホームページアドレス： <a href="https://www.daiwa-am.co.jp">https://www.daiwa-am.co.jp</a>

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

### 指数について

NYSE® FANG+™は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社（以下「ICEデータ」）の登録商標であり、NYSE® FANG+™指数およびNYSE® FANG+™指数（円ベース）（以下「指数」）を利用するライセンスがFANG+ブルベアファンド（以下「ファンド」）において、大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。大和アセットマネジメント株式会社およびファンドは、ICEデータによってスポンサー、販売、または販売促進されているものではなく、ICEデータは、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追従することについて、いかなる表明保証を行うものではありません。

ICEデータおよびその第三者供給元は、明示または黙示の保証を行わず、インデックス、インデックスの値またはそれに含まれるすべてのデータに関して、商品性または特定の目的への適合性のすべての保証を明示的に否認します。ICEデータは、たとえそのような損害の可能性について、特別、懲罰的損害、直接的、間接的、または結果的損害（利益の損失を含む）に対する責任は通知されていたとしても一切負いません。





---

# 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

---